

運営推進会議録

記録者(職種) 高橋美紀子 心春管理者

開催日 平成 30 年 9月 21日 開催場所 ゆーとりあ内会議室 開催時間 13:30~14:30 開催回数 1回

| 会議出席者 | 所属(職種) | 氏名 | 所属(職種) | 氏名 | 所属(職種) | 氏名 |
|--------|---|--------|--------|--------|---------|--------|
| | 保険者 | 秋本 有子 | 地域代表 | 小笠原 憲昭 | 利用者家族代表 | 柳館 由紀江 |
| | 管理者 | 高橋 美紀子 | デスタッフ | 澤田 直子 | | |
| 検討内容など | 1.心春の現状について | | | | | |
| | 4月一日平均6.5人だったのが5月3名、7月1名利用者が増えた事で8月は一日平均8人となった。利用者の慣れない環境と4月異動でスタッフ4人入れ替えとなり、見慣れないスタッフに戸惑いもあってか帰宅願望や落ち着かなくなる利用者も見られましたが、少しでも穏やかに過ごせるよう都度対応し今は以前よりは落ち着いて過ごせています。 | | | | | |
| | 2.4月からの活動・運営状況報告 | | | | | |
| | ・4月～8月までの利用者数の確認、曜日別・回数別・介護度別の確認。(別紙で確認した) | | | | | |
| | ・4月～大地の水芭蕉見学。近隣の散歩。図書館・郷土館見学。 | | | | | |
| | ・5月～桜の花見。大湯のチュウリップ見学。フラワーボランティアで中学生と一緒に花植え。心春の畑作り。ちぎり絵で鯉のぼり製作。 | | | | | |
| | ・6月～利用者のご家族よりプランターイチゴを頂き皆でイチゴ狩り。アカシアの花を摘んで昼食に天ぷらで食べた。小坂めぐりドライブ。 | | | | | |
| | ・7月～畑の草取り。野菜の収穫。暑い日が続く細目に水分を摂ってもらい熱中症対策に努めた。 | | | | | |
| | ・8月～大地のひまわり見学。小坂七夕を見ながらドライブ。七夕飾りを作り東屋に飾った。 | | | | | |
| | ・事故、ヒヤリの報告。日頃の確認・意識不足で起きたヒヤリばかりだったので、毎日の備品チェックやメンテナンスの点検を怠らず、事故にならないようちょっとした気付きもスタッフ間で報告し合い気を付けていく。利用者の体調変化を見逃さず、緊急時にすぐに対応できるようにマニュアルを確認しておく。 | | | | | |

3.今後の取り組みについて

* 地域との関わり

- ・暑い日が続き畑の脇に積み上げた草から匂いが発生、近隣に迷惑をかけた。草は直ぐに除去し今後は刈った草はゴミ袋に入れ捨てる事とする。
- ・畑は前に利用されていた方のご家族の協力もありアドバイスを頂きながら、利用者と一緒に畑作りをしているが、現状として管理が難しい。
- ・機会を見つけて地域の行事に参加し、心春を知ってもらい関わっていききたい。近隣の散歩、東屋でのレク時等地域の方の見守りをお願いしたい。

* 今後の心春として

- ・9月23日(日)・30日(日)と心春の押入れの拡張工事を行う。(利用者がゆっくりくつろげる空間作りの為)
- ・10月に避難訓練を行う。(日にちは未定)地域の方達の協力をお願いしたい。
- ・冬に備え雪囲い(東屋等)
- ・各曜日空きはあるが、利用者一人一人のニーズに対応出来る体制作りを整えながら、利用者確保に努める。

検討内容等

4.質疑応答

- ・小笠原さん～扇風機にネットをかけ利用者が手を挟まないようにした方がいい。洗濯ハンガーは劣化しやすいのでケガにならないように細目に点検し交換した方が良い。草刈りは遠慮せず町内に声を掛けてほしい。地域ボランティアをもっと活用してほしい。

(心春)～ありがたい意見を頂き今後お願いしたい。

- ・小笠原さん～避難訓練は近隣に声を掛け協力し行った方が良い。どんどん声を掛けてほしい。火事の想定であれば避難場所を遠くにしなくて、町内の会館を避難場所にすればいい。

柳館さん～心春の間取りや構造、避難経路等どんな方が利用してどう誘導すればいいのか把握するためにも心春を見学してもらったらい。

(心春)～災害時の避難場所はセパームになっているが、火事であれば町内の会館の方が近いし、独歩の利用者は歩いて行ける距離でもあり近隣の方も誘導しやすいと思う。10月に予定しているので計画を立て、近隣の方達に声を掛け協力をお願いするとともに心春の内部を見てもらい、いざという時の為にスムーズに出来るようにしたい。

- ・小笠原さん～畑の草取りや野菜の手入れ等スタッフだけでは管理は大変ではないか。社協で年間運営費として謝礼を捻出できないものか。ご家族にも協力してもらおう事は出来ないか。「心春便り」でも発信してみてもどうか。

| | |
|--------|---|
| | <p>(心春)～草取りや野菜の手入れ、棚掛け等分かる利用者に聞きながら、出来る利用者と一緒に取り組みの一環として行ったり、時間を見てスタッフが行ったりしていますが、それだけでは手が回らないのが現状です。利用者の状況に合わせやれる範囲で無理なく行っていく。又、心春応援隊としてどのような形でお手伝いしてもらったらいいのか検討したい。</p> <p>・小笠原さん～町内の行事として、11月11日(日)11時～上小坂会館で「だまっこ会」を開く。今回は参加費無料となっているので心春の皆さんに参加してほしい。</p> <p>(心春)～人数等検討し参加したい。</p> <p>・秋本さん(町)～入浴拒否や食事拒否、帰宅願望の利用者はいるか。その対応はどうしているか。</p> <p>(心春)～なぜ嫌なのかなぜ拒否するのか、その方のアセスメントを行いスタッフ会議等で話し合い、穏やかにスムーズに進むよう環境を整えたり雰囲気作りをしたり、スタッフの表情や声のトーン・会話に気を付け取り組んでいる。毎回ミーティング等でその日の取り組みを振り返り話し合いの中でコツをつかみながら取り組み、今は強く拒否する方はいない。</p> <p>・柳館さん～自宅前の町道を拡張する話が町から出てる。今直ぐではないが、拡張する事によって今までより楽に送迎が出来るのではないか。</p> <p>(心春)～特に冬は狭く登り坂の為、境目が分かりづらく車を擦ってしまった事もある。今後も十分気をつけて送迎したい。</p> |
| 結論 | <p>ヒヤリが大きな事故に繋がらないよう、今後も気を引き締めて支援に努める。今後も地域とうまく繋がりながら、積極的に地域交流し地域の方々に心春を知ってもらい理解してもらえよう努力していく。避難訓練では地域の方達の協力を仰ぎたい。</p> |
| 残された課題 | <p>心春の利用者と地域の方達と交流する場を設けて行きたい。畑の管理や環境整備に関しては協力をどのように募っていくのか、考えて行きたい。</p> <p>(次回開催時期)平成31年9月予定</p> |